



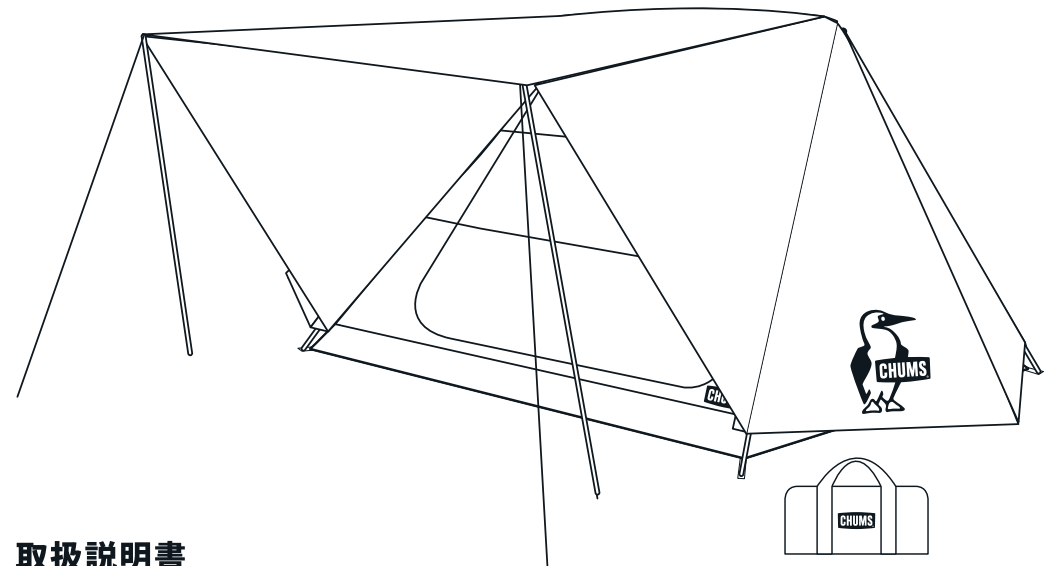
この度はCHUMS製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます  
安全にご使用いただくためにも、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください  
本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください

【お問い合わせ先】

株式会社ランドウェル 東京都港区北青山3-5-12 青山クリスタルビル7階  
TEL: 03-6432-9550 URL: [www.chums.jp](http://www.chums.jp)

# A-Frame Tent 3

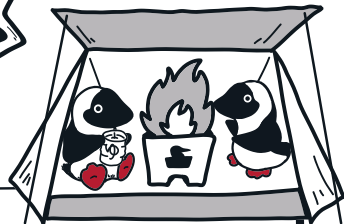
エーフレームテント3



取扱説明書

# A-Frame Tent 3 の楽しみ方!

**NG!**

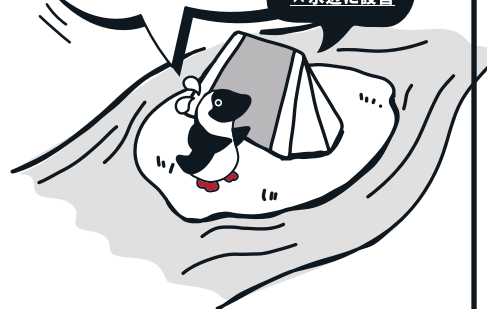


テント内は火気厳禁  
メッシュにしてもダメ!!

河原での設営は場所を  
しっかり選んで!

急激な増水が起こる可能性があります  
川っておだやかに見えて  
めっちゃくちゃ危険です

×中州に設営  
×水辺に設営

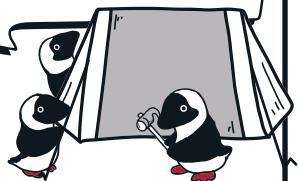


台風、強風、暴風雨など  
こんな時はキャンプしない!!



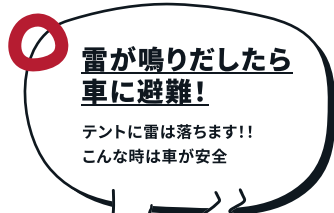
テントの設営は  
2人以上で!

1人で頑張ってポール折れとか...  
本末転倒...  
2人以上でチームワークを発揮してください!



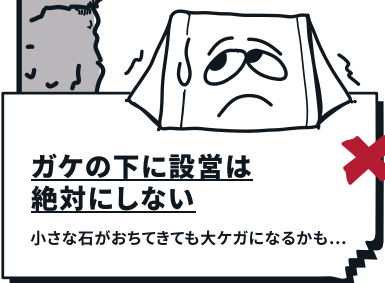
雷が鳴りだしたら  
車に避難!

テントに雷は落ちます!!  
こんな時は車が安全



ガケの下に設営は  
絶対にしない

小さな石が落ちてきて大ケガになるかも...

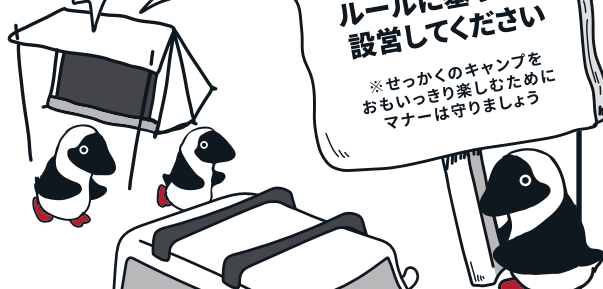


指定エリア以外の  
場所に設営しない



キャンプ場が定める  
ルールに基づいて  
設営してください

※せっかくのキャンプを  
おもしろく楽しむために  
マナーは守りましょう



※上記の注意事項をしっかり守って、気持ちよくキャンプを楽しんでください!

# テント設営の心得!

テント設営を始める前に、  
これだけは頭に入れておこう!

## ○ 設営場所をしっかりと見極めるべし

・危険がある場所には設営しない

## ○ できる限り平地を選ぶべし

・自然の中なので完全な平地はありませんが...

## ○ 水の流れを読むべし

・水の流れた跡、水が溜まった跡、ここは避ける!

## ○ 想像力をフルパワー(全開)にすべし

・お隣との距離感、ロープで使う広さ しっかり想像する

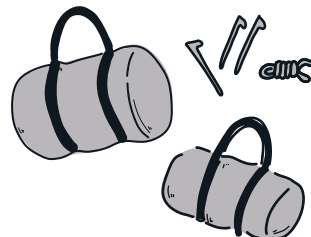
## ○ 声がけしながら仲良く設営

・設営でモメると、この先の1泊~2泊ず~っと険悪ムードに...  
せっかく楽しいキャンプです。これだけは避けよう!

## 準備するもの

### 出発前にCheck!!

テント本体・ポール・バグの本数・ロープの本数



### あると便利なもの



ハンマー ベグ抜き ベグ&ロープの予備 グローブ ミニホウキ・ミニチリトリ・ぞうきん

Point!

バグとロープはおうちで言うところの基礎になります!  
セットに入っているのは最低限の数と長さです  
設営場所によっては色々なタイプが必要な場合もあるので、  
予備を持っておくとうれしいです

Point!

テント内に入った芝生や土をおそうじ  
撤収時に夜露なんかを  
ささっと拭いて乾燥撤収!!

## 設営してみよう!

1 収納ケースから  
テント本体を  
取り出します



2 コロコロ転がして  
のぼしていきます

3 インナーテントを  
広げます



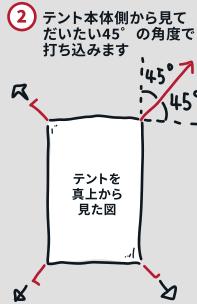
4 四隅のテープのリングに  
ベグを通して打ちこんでいきます



ベグを打ったら、もう...テントを動かしたくない...  
なので、ここでテントの位置、向きをCheck!!



1 ベグを打ち込んでいく際  
ちょっと外側に引っ張りながら  
きれいな四角にするイメージです



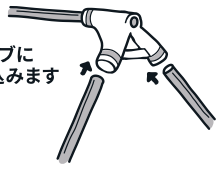
2 テント本体側から見て  
だいたい45°の角度で  
打ち込みます

3 テントと反対側に  
少し傾けて  
打ち込むイメージです



## インナーテントの組み立て

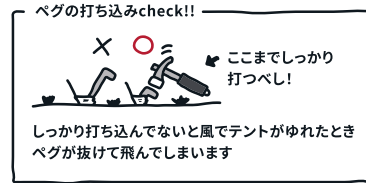
1 プラスチックハブに  
ポールを差し込みます



風向き



2 ポールの先を  
グロメットに差し込みます



ベグの打ち込みcheck!!

ここまでしっかり  
打つべし!  
しっかり打ち込んでないと風でテントがゆれたとき  
ベグが抜けて飛んでしまいます

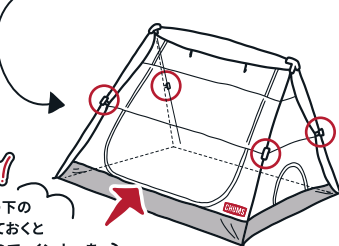
3 テントの生地を  
張っていく際、  
風上側から張っていくと  
楽に立てられます

4 インナーテントを起こして  
プラスチックのフックを  
プラスチックハブに  
両側1ヶ所ずつ  
引っかけます

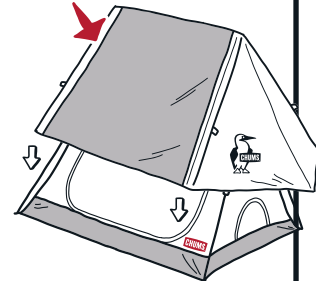


ここに引っかける

5 インナーテントのサイドに  
4ヶ所プラスチックフックがあります  
これをポールに引っかけます



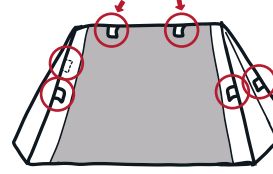
6 フライシートをかぶせませ  
ファスナーが付いている方が  
正面入り口側です



ファスナーの下の  
部分をあけておくと  
空気が入るので、インナーを  
引き起こしやすくなります

## フライシートの取り付け

面ファスナー6ヶ所

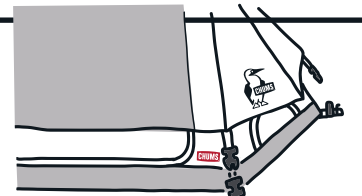


1 フライシートの内側に  
面ファスナー(マジックテープ)を  
ポールに巻きつけていきます

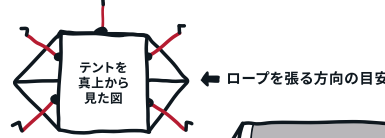


こんな感じで巻きつけて固定

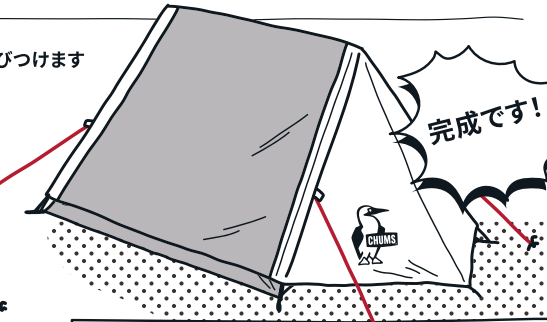
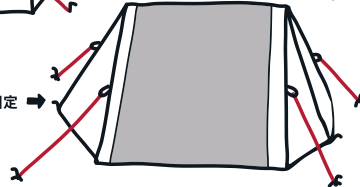
2 フライシートの四隅についている  
プラスチックバックルをインナーテントの  
バックルにとめてフライシートを固定します



3 ガイロープ(赤)をフライシートのテープ5ヶ所に結びつけます



ここは  
ベグで固定



完成です!

ロープとベグはお家で言うところの“基礎”になります  
しっかりと固定して安心のキャンプを楽しみましょう!

4 テントから約1~2m程度、離れた場所にベグを打ち込み  
そこにロープを引っかけ固定します



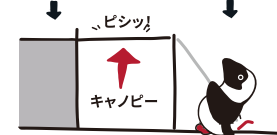
A-Frame Tent 3 の  
便利な使い方

1 日陰がほしい時は付属の  
ガイロープ長(グレー)と  
キャンビポール(2本)  
を使ってキャンピーを伸ばします

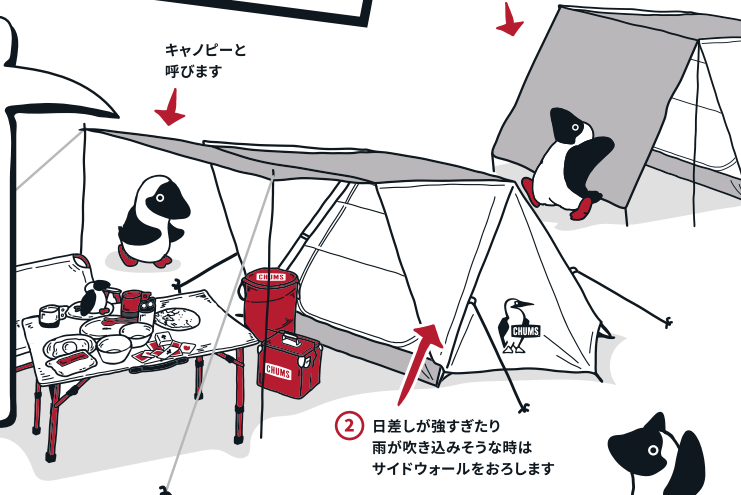
3 キャンピーを半分にして  
半分はそのまま地面に固定すると  
風雨の時の吹き込み防止や  
プライバシーも守れちゃいます

## キャンピーの張り方

ローポールを起こすサポートをしながら  
ガイロープ長(グレー)を引っ張ります



キャンピーと  
呼びます



2 日差しが強すぎたり  
雨が吹き込みそうな時は  
サイドウォールをおろします

## 設営の予備知識

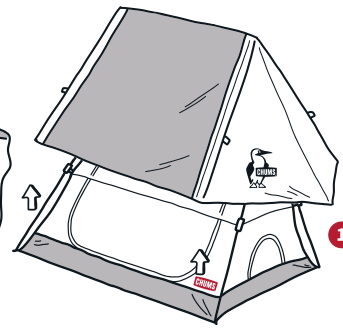
・テントを建てる時は風上から  
・ポールにピンを差す時・ポールを持ち上げる時・ポールを張るとき etc...

・風上側から作業していくと楽!!  
※撤収は逆で風下からです



## 撤収しましょう！

撤収は次のキャンプの準備です！  
次回も気持ちよくキャンプをするためにキレイを心掛けましょう



**Point!**  
ペグを抜いていくとき必ず一ヶ所にまとめる事！あちこち置いていると忘れものの原因に...

- 1 フライシートを取りはずします  
ガイロープ、ペグ(2ヶ所は残して)、ポール全て外します



- 2 まずはインナーテントを裏がえして底面を干します



**Point!**  
キャンプ中晴れていても地中の湿気はどんどん上がってきます



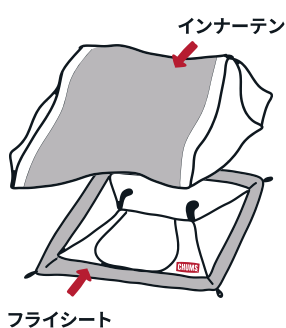
テントの底面は地面から上がってくる湿気をとめる役割があります  
なので底面は晴れていても濡れてしまいます

- 3 底面をお日様にあてて完全に乾燥させます



## 畳み方のコツ！

ポールを抜く作業のあと...  
テントはくしゃくしゃだと思えます...



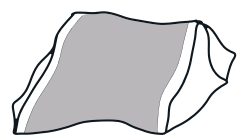
これをピシッと2つ折りにしたい！



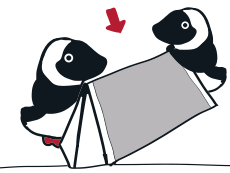
くしゃくしゃのテントをどう、ピシッと畳むんだ...?

## フライシートを畳みます！

はずしたフライシート

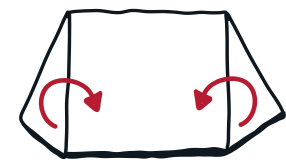


この一番高くなる場所を持つ！

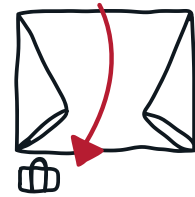


- 1 風下に向かって一度振ります
- 2 ちょっと持ち上げて風上側へ
- 3 ゆっくり地面におろします

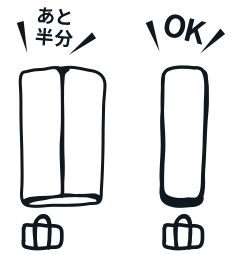
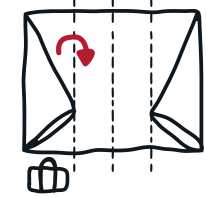
- 4 この部分を折り畳んで



- 5 ここに収納ケースをおいておくと収納サイズを決めやすい

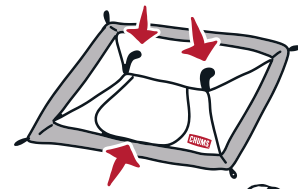


- 6 およそ四分の一をめざして畳みます



## インナーテントを畳みます！

このプラスチックフックを2人でもちます



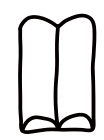
入口のファスナーの下部はあけておく！

- 1 まず、入り口側に生地を引っぱって後ろ側をキレイに平らにします
- 2 次に入口と反対側に引っぱって入り口側を平らにします
- 3 ゆっくり地面におろします

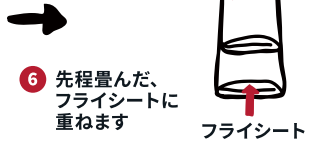
- 4 フライシート同様4分の1を目安に折り畳みます



- 5 まずは真中まで



- 6 先程畳んだ、フライシートに重ねます



## ポールを畳みます

**注!**

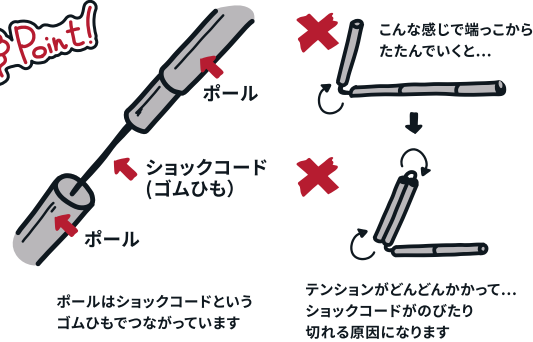
ポールは真ん中から抜いて畳みます

真ん中から折り畳むことでショックコードを守り、長持ちします



畳み終わったら収納ケースへ

**Point!**



## いよいよラスト!!

### 1 収納ケースに入れます

フライシートとインナーテントを重ねた上にポールを置いてスタンバイ!!



### 2 ポールを芯にして空気をぬきながらインナーテント、フライシートを巻いていきます



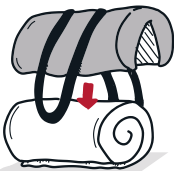
フライシート屋根側からすそ側に向かって

**Point!**

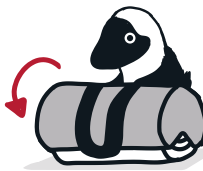
ここを気を付けるだけで小さく、キレイに収納できます



### 3 きれいに巻けたら収納ケースを上からかぶせます



### 4 収納ケースをかぶせたらコロンと転がします



### 5 転がすだけで全部納まるのでファスナーをしめて



全部スッキリ納まれば完成です!



## 組み立て・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテントの組立(設営)及び、使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテントを設営しないでください。



**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品がそろっているか確認してください。
- テントの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- テントの設営の際は手袋を着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- ベグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやベグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテントの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ等、破損の原因となります。
- テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テントを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント本体はベグで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テントを設営する場所によっては付属のベグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の状態を確認しておいてください。
- テントから長時間離れる場合は必ず撤収してください。
- 急な天候の変化、突風などにより、テントが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- テントの近くで火気を使用しないでください。
- 結露について  
テントの生地には撥水加工が施されていますので外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することが出来ます。

## 収納や保管の注意



**注意** この注意を無視して誤った収納や保管をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを十分に落とし、十分に乾かしてから直射日光が当たらない、通気性の良い場所で、収納・保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビの発生原因となります。
- 長期保管される場合は、湿気がこもりカビ発生の原因となりますので、ご注意ください。
- 撤収時、本体を乾かせない場合は、出来るだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると、色移りやカビの発生原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布でふき取り、よく乾燥させてから保管してください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色及びプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

## 商品仕様

品名：A-Frame Tent3

サイズ：幅 320cm× 奥行 180cm× 高さ 130cm

収納袋：幅 68cm× 奥行 20cm× 高さ 20cm

材質：シート・収納袋 ポリエステル 100% ポール アルミニウム 100%

重量：5.4kg( 収納袋含む )

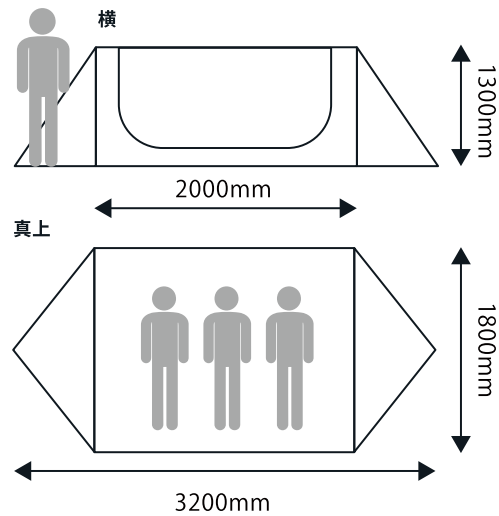
MADE IN VIETNAM

## セット内容

お出かけになる前に、パーツ等の不足がないかご確認ください。

・フライシート	1 張	・プラスチックハブ	2 個
・インナーテント	1 張	・収納袋 ( 本体用 )	1 個
・ポール	7 本 ( テント用 5 本 キャンピ用 2 本 )	・収納袋 ( ポール用 )	1 個
・ペグ	15 本	・収納袋 ( ガイロープ・ペグ用 )	1 個
・ガイロープ ( 赤 )	5 本		
・ガイロープ長 ( グレー )	4 本		

## サイズ ( インナーテント )



## 品質保証について

お買い求め頂きました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または CHUMS お客様相談室 (cs@chums.jp) までご連絡ください。製造上の欠陥と当社が判断した場合は無償で修理又は交換させていただきます。但し、誤った使用方法や、経年劣化による不具合につきましては保証、修理できない場合もあります。

## MEMO